

まちのニュース カメラアイ ～地域のお話をお届けします～

寒さなんてへっちゃら！

子育て支援センターこども館で小学生を対象に「雪中レクリエーション」を開催し、子ども達は元気に本格的な雪合戦や宝ひろいを楽しみました。開催にあたり、雪合戦玉よけ用のコンパネを榊橋組から貸与いただき、土別地区更生保護女性会と寒分区からはお菓子とジュースのほか、昼食には熱々の豚汁が振る舞われ、参加した子どもたちは身体も心も温くなりました。



1/10
(木)

1/12～13
(土～日)



お母さん スキー乗れたよ

和寒東山ジュニアスキー教室（教育委員会主催）を1月12～13日に開催しました。参加した保育所年長児と小学1年生25名は、はじめは怖がっている子もいましたが、スキー協会指導員の安全で丁寧な指導によりあっという間に上達。終了後にはお母さんに「スキーが滑れるようになってうれしい。」と喜んで報告する姿が見られました。

全道ベスト8で強化選手に

昨年の5月20日（日）に江別市で開催された小学生学年別柔道大会の5年全重量級に出場した梅本仁くん（和小5年）が、ベスト8の成績をおさめ、全国少年競技育成事業強化選手として札幌市で開催された強化合宿に参加しました。梅本君は、今後も和寒の道場に通い、日々体と心を鍛えていきます。



1/12～14
(土～月)

1/28
(月)



地元食材 おいしい！

和寒小学校で、ふるさと給食試食会が行われました。昨年、北ひびき農業協同組合より町へ学校給食に寄贈していただいた食材を使用し、土別市学校給食センターの協力により、給食を提供いただきました。

今回の試食会をとおしてあらためて地域で収穫された地場産物の豊富さを知ってもらいたい機会となりました。

1/31
(木)



よくわかる！発達障がい理解のヒント

発達障がいを知り、理解するための講演会を保健福祉センターにおいて開催しました。

この講演会は町が主催したもので、講師に北海道発達障害者支援道北地域センターきたのまちの高野祐子コーディネーターを招き、特に大人の発達障がいの特性や関わり方についてお話ししていただきました。

発達障がいは周りにいる人や環境によって変化するというお話を聞き、参加された約70名の来場者は真剣に耳を傾け、発達障がいへの理解を深めていました。

軒下の除雪で安全確保

㈱廣野組（旭川市）が地域貢献活動として、保育所の南側軒下の除雪作業を行いました。同社による除雪作業は昨年引き続き2回目。「わんぱく広場」の人工芝などを傷めないようスコップで丁寧に除雪していただきました。作業終了後は、保育室に明るい陽射しが入るようになり、子ども達も喜んでいました。

2/2
(土)



2/10
(日)



冬も地域で交通安全

三和・菊野自治会で「第26回三和しばれぶっとばセフェスティバル&冬の交通安全スポーツの集い」が開催されました。

イベントの開会にあたり、「交通安全宣言」を約60名が一斉に読み上げ、交通安全への気持ちを新たにしました。

集まった自治会員は、つきたてのお餅や豚汁、甘酒などで体を温めながら軽スポーツで交流を深め、冬の1日を楽しんでいました。

冬ならではの運動をしませんか？

和寒町体育協会主催の「スノーシュハイキング」が、1月から毎週1回開催されています。かんじきの様な道具を装着し、新雪の中を歩行するため、通常のウォーキングより負荷が大きく少しの時間でも運動効果が高いです。3月には夫婦岩へのハイキングを予定されています。興味のある方は、ぜひ参加してみてください。



2/13
(水)